



令和3年度 9月号

# 和田中だより

多摩市立和田中学校 HP アドレス <http://schit.net/tama/jhwada/>



## 「当たり前」のレベルを上げる

校長 伊藤 映二

コロナウイルス感染症拡大の影響により、45日間の長い夏休みとなりました。本校においては、大きな事件・事故等もなく、2学期を迎えることを何より嬉しく思います。

2学期が始まりました。この学期は80日間という長い学期になります。今学期は「当たり前」のレベルを上げるということを提案したいと思います。

1学期、和田中学校は落ち着いた環境の中で、学習をはじめ諸活動が行われてきました。授業中、全員が席について先生の話に耳を傾ける。今の和田中学校にとっては「当たり前」のことです。しかし、その「当たり前」なことさえもできなかつた時期が、かつての学校ではありました。また、この「当たり前」に満足していたのでは、学校の発展は止まってしまいます。

朝、昇降口で生徒の登校時に挨拶をすると、多くの生徒が挨拶を返してくれます。また、授業の始めと終わりには、先生と生徒は起立をして礼をします。これが今の和田中学校の「当たり前」です。この「当たり前」を一步前に進めることを考えてみてください。

朝、先生や友達と会ったら自分から元気に挨拶をする。授業の始めにしっかりと礼を交わすことにより、良い意味での緊張感やメリハリが生まれ、学習に対するスイッチを入れる。また、授業の終わりには相手（先生や意見を交わした友達）への感謝を込めて礼をする。挨拶は、自分から心を込めて行うことにより、はじめて生きたものとなります。学級や学年全体で取り組めば、その効果は目に見えるものとなり、ひいては学校全体の雰囲気も変えていきます。ここでは挨拶を例にあげましたが、「当たり前」のレベルを上げる種は校内外にいくらでもあります。

夏休み中の校舎の大規模改修工事（I期）が終わり、皆さんのが生活する普通教室（5組はII期工事にて）は良好な教育環境となりました。これを機に、生徒の皆さんも「当たり前」のレベルを上げることを意識して、学校生活を送って欲しいと思います。一人ひとりの生徒が、さらに一つ上の自分を目指せる2学期になることを期待しています。

### —夏休み期間中に、校舎の大規模改修工事（I期）を行われました—

夏休み期間中に校舎の大規模改修工事（I期）が行われ、校舎の半分ではありますが、内装も見違えるほど変わり、過ごしやすい教育環境になりました。冬からは体育館の改修、来年の夏休みにII期工事が行われます。

※新型コロナウイルス感染症の拡大が止まらない状況です。感染症対策をとりながら、2学期の教育活動を進めてまいります。

①3密を防ぐ ②体調が悪いときは無理に登校させない ③家庭内で陽性者が出てしまった場合には学校に連絡をする 等（裏面参照）、再度ご確認ください。

今学期も、本校の教育活動へのご理解・ご協力を願いいたします。

## もう一度確認しよう

# 感染症予防について

学校では、以下の基本的な感染症予防策の徹底を継続して行っています。

○3密の回避、こまめな手洗い、咳工チケット（マスク着用）

○毎朝体温、健康観察、「健康チェックカード」に記録

※体調不良等の症状が見られる場合は無理せず休養をお願いします。

※教職員は、健康状態に不安がある場合は出勤しない。

○登校時の健康チェック

（サーモグラフィ等で再確認、「健康チェックカード」提出）

○換気は可能な限り常に、困難な場合は30分を目安に2方向の窓を5分程度開放して実施

○教室等における密集の回避（生徒同士の間隔を可能な限り確保）

○1日回以上の消毒

○授業や部活動、勤務終了後は速かに下校・退勤

ご家庭においても感染症対策をお願いします。

＜家庭に持ち込まないために＞

○日中も含めた不要不急の外出・移動の自粛

○繁華街に外出しない

○3密の回避、正しい手洗い、咳工チケット（マスクの着用）

＜感染を広げないために＞

○毎朝検温、健康観察

※家族に発熱や風邪、体調不良等、何らかの症状が見れる場合や、家族がPCR検査等を受けた場合は、学校に速やかにご連絡いただき、生徒に無理をさせず、登校を控え早めに休養をお願いします。出席停止とし、欠席扱いとはいたしません。

○十分な換気

○手が触れる場所などの消毒

# 学校生活のコロナ対策

